入 学 者 の こ と ば

59名の仲間とともに

歯学科１年　恩　田　咲　良

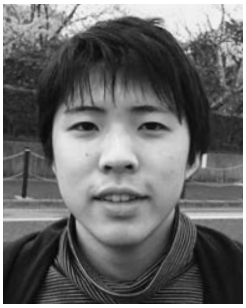
楽しい時間ほど早く過ぎていってしまうとはよく言ったものです。４月に入学してからもうすでに３か月、私はこれまで大学１年生として学生生活を送ってきただけではなく、一人暮らし１年生、成人女性１年生（１浪したので）としても毎日を過ごしてきました。今までは母に任せっきりだった料理にもだんだん慣れ、少しずつ料理のレパートリーを増やしているところです。自炊は、食料の買い出しを含め、１人でするという経験があまりなかったので、大変さを感じつつも楽しいな、主婦みたいだなと思いながらやっています。20歳の誕生日に何から飲み始めたらいいのか、迷いながらお酒を選んだときの緊張と喜びもとても新鮮でした。しかしその後も何度か買いには行くのですが、１度も年齢確認をされたことがありません。それはそれで悲しいです。

私の話はこれくらいにして、歯学部１年生総勢60名の実態に迫ってみましょう。入学前のガイダンスの際、緊張しながらも友達作りを始めている姿が見られましたが、赤塚で行われた合宿で、その距離がぐんと縮まりました。それからなんといっても５月下旬の運動会。リレーで１位に輝いたことは、誰にとっても印象深い思い出となったはずです。あの時は応援している立場でも本当に盛り上がりました。それから、新潟大学特有の早期臨床実習。専門知識をほとんど持ち合わせていない状態で時には医療従事者の卵として、またある時は患者として実習を進めてきました。白衣姿で病院内を歩いていると、改めて新潟大学歯学部生としての誇りを感じます。実習の後も歯学部生全員で授業を受けます。週に１回は旭町キャンパスで過ごすこととなるので、歯学科の仲間だけではなく、口腔生命福祉学科の仲間とも接することができ全体を通して充実した実習となっています。

受験生の時には、ライバルであった同級生。しかし今では、そしてこれからも、歯科医療に携わっていきたいという志を持った同志です。仲間との信頼関係を得ることは、同時により良い医療をしていくための架け橋となるはずです。口腔生命福祉学科の仲間とは最高学年に違いこそありますが、それでもみんなで意識を高めあう、みんなで国家試験に打ち勝つ、この「59名」の仲間とともに支えあいながら、乗り越えていきたいです。先生方、これからもご指導のほどよろしくお願いします。そして、みんなこれからもよろしく‼

入学者のことば

歯学科１年　鈴　木　気　敏



日増しに暑さが厳しくなって参りましたが、皆様ご清祥のことと拝察いたします。私たち１年が歯学部に入学してから早３か月が経過し、前期も残すところあと３週間となりました。TOEICも終わり部活ではオールデンタルに向け本格的に練習が始まった部も多いと思います。慣れない一人暮らしや先生方や先輩方と新たに出会ったり、日々の課題に追われたりと毎日の刺激が多く、思い返せばあっという間の３か月間でした。

１年生は現在、五十嵐で他学部の生徒と教養課程の授業を聴講しています。特に高校で生物選択だった人は物理の授業内容やテストになかなか苦心している人も多いと思います。かく言う私もその一人です。また、こちらの五十嵐キャンパスで授業が受けられるのは今年いっぱい、全学の授業の雰囲気を味わえるのもあと半年です。大学生活

にも大分慣れ、１年生は皆この貴重な総合大学特有の生活を十分に謳歌しているように感じます。

つい先日、新潟大学歯学部特有の早期臨床実習の病院実習が終了しました。私は身内に歯科医師がおらず、加えて今まで一度も歯科医院に行ったことがなかったので、実際に歯科医師の仕事に触れられるこの授業はとても貴重な体験となりました。特に患者役実習では自分が患者になり体験することで、実際の患者さんの気持ちに寄り添うことができました。また患者付き添い実習では、難しい症例の患者さんや歯科治療に対して苦手意識を持ってしまっている患者さんなど様々な患者さんと接することができ、将来歯科医になったとき自分がどのような患者さんに接するのかという参考になりました。この経験を忘れずに５年、６年での病院実習では患者さんの気持ちが理解できる実習生になりたいと思います。

最後になりますが、新潟大学の歯学部は歯学科と口腔生命福祉学科との人数を合わせても60人と他学部に比べ、圧倒的に人数が少ない学部です。しかし、それがこの学部の強みだと思います。特に私たち１年は赤塚での合宿などで比較的早く仲が良くなったので、５月の運動会やテスト勉強、部活でのつながりによって、現在ではよりその団結力が強くなっていると感じます。これからも医歯学祭などのイベントや２年次以降の専門科目の勉強などの困難なこともありますが、これからもこの団結力を強くし、一つ一つ乗り越えていきたいです。

入学者のことば

歯学科編入２年　五十嵐　理　沙

晴れて歯学科に編入し、歯科医師という夢への第一歩を踏み出して早３ヶ月が経ちました。当初は期待に胸を膨らませながらも、クラスになじめるだろうか、勉強についていけるだろうかなど不安も多くありました。ですが、今ではすっかりクラスのみんなとも打ち解け、勉強や課題に追われながらも日々楽しく過ごしています。また、卓球部に入部し、同級生だけでなく先輩や後輩とのつながりもでき、より充実した学生生活を送ることができています。５月の運動会で、やや年上のお姉さんは張り切って走って肉離れを起こしそうになりましたが…　苦笑

私は食や栄養への興味から、以前の大学では栄養学を専攻し、管理栄養士の免許を取得しました。そして、その後大学院に進学し、生活習慣病のリスク因子に関する疫学研究を行ってきました。編入を決意したきっかけは、これまで学んだ栄養学との関わりから、肥満や糖尿病などとともに以前から歯科の分野に興味があったことや自らの歯科矯正の経験、大学院で臨床家が多くいる環境で研究をしてきたこと、姉が歯科医師であることなどから、自分も歯科医師になりたいという思いが徐々に強くなっていったことです。編入は非常に狭き門であるため、まさか自分が合格できるとは正直思ってもみなかったのですが､合格させていただけたことをとてもうれしく思っています。

さまざまな回り道をしてきましたが、そのおかげで合格を手にすることができ、本当に自分がやりたかったことに出逢えた気がします。そして、およそあと５年で非常に長い学生生活にも終止符を打つことになります。私には将来、歯科医師として診療する傍ら研究もし、時には管理栄養士として栄養指導や食育、料理教室などにも携わりたいという欲張りな夢があります。これまでの経験を最大限に生かし、患者さんから信頼されるよい歯科医師になれるよう、まずは国家試験に合格し、笑顔で卒業することを目標にがんばっていきたいと思います。

入学者のことば

口腔生命福祉学科１年　伊　藤　美樹子

新潟大学に入学して約３か月がたちました。大学では想像していたよりも自分の判断で行動することが大切で、入学したばかりのころは不安でいっぱいでしたが今は大学生活にも慣れて毎日楽しく過ごしています。

私が口腔生命福祉学科を目指したのは、治療で

不安になっていた私に優しく声をかけて安心させてくれた歯科衛生士さんの存在があったからです。私は幼いころから新潟大学医歯学総合病院に一人の患者として通っています。幼いころの私は治療をとても嫌がり、歯の治療なのに口を頑なに開けなかったり、暴れたりしてとにかく治療を拒んでいました。そんな時に、歯科衛生士の方が優しく話しかけてくれたことで「この人は自分のことを理解してくれている」と嬉しく思ったことを今でも覚えています。私もそのように治療を嫌がる子供や不安になっている患者さんの気持ちを理解し、その人に合わせたコミュニケーションをとることができる歯科衛生士になりたいと思い、口腔生命福祉学科に入学しました。この夢を実現できるようにこれから４年間しっかりと学び、たくさんの人と関わってコミュニケーション能力を高めていきたいです。

私たち１年生は毎週金曜日に旭町キャンパスで患者付き添い実習、患者役実習、治療見学実習をしています。入学するまで、患者として何気なく歩いていた病院内や診察室で白衣やユニフォームを着て実習をすることが最初のころはとても不思議でした。しかし、回を重ねるごとに将来医療にかかわるものとしての自覚が少しずつ芽生え、今では言動に気を付けて実習をすることができています。２年生からは専門的な学習や実習が始まるので今のこの気持ちを忘れずに来年からも頑張りたいと思います。

学ぶことはもちろん大切ですが、新しくできた友達とたくさん遊び、たくさんの思い出を作って後悔のない大学生活を送っていきたいです。

入学者の言葉

口腔生命福祉学科１年　堀　江　奈実佳

私たちが入学して、早くも３カ月が経とうとしています。３月に高校の友達や先輩、恩師の方々に別れを告げ、４月に新しい環境で学ぶという不安と期待が織り交ざる心情の中で入学式を迎えたことを今でも鮮烈に覚えています。親元を離れ、遠い地での一人暮らし。最初は試行錯誤の、手探りの状態で始めて、先行きが不安でしかありませんでしたが、ようやく軌道に乗り、慣れてきたように感じます。炊事や洗濯など今まで親がやってくれていた家事を全て一人でやってみて初めて、親のありがたさと自立の難しさを痛感しました。

色々なことがあり、振り返ればこの３カ月は本当にあっという間に過ぎていった３カ月でした。やっと自分の中で余裕ができ、最近では大学に入ったら絶対にやりたいと思っていた部活やサークル活動に精力的に取り組んでいます。先輩方はとても優しい人ばかりで、部活やサークル活動以外の悩みにも親身になってアドバイスをくれるので、本当に感謝してもしきれません。

入学してすぐ、毎週金曜日に早期臨床研修が始まり、白衣を着て実際の現場を見ることは私たちにとって、これから医療従事者になるのだという気持ちを高めてくれました。専門的な知識は何もないため、毎回の研修で学ぶことが新鮮で、驚くことばかりでした。実際に患者さんと関わったり、現場の仕事を見学させてもらったり、患者さんになって治療してもらったり、この学部でしかできない経験を１年生の早い段階で積めることは本当に有意義であると思います。

歯学部は60人程度と比較的少人数の学部ですが、お互いに協力しあって大学生活を過ごしていきたいです。まだまだ始まったばかりで、これから楽しいことだけでなく辛いこと、苦しいことも待っていると思いますが、歯学部みんなで乗り越え、かけがえのない、素晴らしい大学生活にしていきたいです。

入学生の言葉

口腔生命福祉学科編入３年　田　村　　鼓

新潟大学に入学して３カ月が経ちました。私は短大に入学し歯科衛生士免許を得て、４月に口腔生命福祉学科に編入しました。もともと、医療・福祉に興味があり歯科衛生士を目指しましたが、特別養護老人ホームでの実習を経験し、高齢者福祉についてもっと深く学びたいと考え新潟大学への入学を決めました。

いままで福祉＝高齢者というイメージが強かったのですが高齢者の分野以外にも児童、障がい

者、社会保障などたくさんの分野があるのだと知りました。講義は学生自ら問題を見つけ、グループディスカッションを行い、問題解決をするPBL形式が多くあります。これまで経験したことのないスタイルの講義のため最初はとても戸惑いました。調べ方が十分でなかったり、意見を言うときや発表の際に緊張しながら毎回課題に取り組んでいます。それでも、PBLグループのメンバーと一緒に話し合ったりまとめをしたりと初めて経験する学生主体の講義形式は私にはとても新鮮で毎回楽しいです。まだまだ不十分な点が多いですが社会に出たときにこの経験を生かせるよう努力していきたいと思います。

私は専門科目以外にも心理学や英語などの教養科目も受講しています。特に苦手な英語に苦戦しています。高校での英語は受動的に先生の話を聞いている形式が多く、短大ではほとんど英語は勉強しませんでした。そのため、英語で論文を書いたり自分の意見を述べるなど難しく感じています。今は、３年次編入生６人で行うディベートの準備をしています。英語で行うディベートに今から緊張していますがディベートが成功するようしっかり準備をして当日に臨みたいと思います。

この３カ月間で私は受動的に講義を受けるのではなく、自分で課題を探し考える事の大切さを痛感しました。２年間と短い学生生活です。恵まれた環境で勉強できることに感謝し、有意義で充実した大学生活を送りたいと思います。

入学者のことば

口腔生命福祉学専攻　博士前期課程１年
牧　口　由　依

この春、口腔生命福祉学科を卒業し、新潟大学医歯学総合病院で歯科衛生士として働きながら大学院で学んでいます。なぜか歯学部ニュースを書くのは学部生の頃から数えて４回目になります。文才があるわけでもないのに何回も登場して申し訳ありません。「卒業にあたり」というテーマで執筆させていただいた前回から早半年、歯学部ニュースとは縁がなくなると考えていましたが、こんなにすぐに執筆させていただくことになるとは思いませんでした。恐縮ですが、読んでいただけると幸いです。

私にとって、大学院は勉強・研究が好きな人が行くところであると思っていました。勉強があまり好きではない私が大学院に入学することになるとは、１年前は全く考えていませんでした。大学病院に就職が決まり、大学院に行かないのはもったいないかもしれないという考え方にだんだんシフトしていき、入学することを決意しました。今は終業後に講義を受けたり、レポートをこなす毎日であるため、（こんなことを書いたら怒られるかもしれませんが）正直まだあまりモチベーションが上がっていません。しかし先日、研究を担当していただく先生方と研究についてお話させていただいたときに、具体的な研究のイメージが見えてきて、面倒に思っていた研究が少し楽しみになりました。

先日、口腔生命福祉学科卒業生の集いが開催され、県内外から１～10期生が集まりました。このような機会、節目の年に恵まれたことに感謝しています。久しぶりに会う同期と話す中で、違う部署だけど同じ病院の歯科衛生士、県外の行政で活躍する社会福祉士、毎日勉強しながら働くMRなど、違う分野であれどそれぞれ頑張っているのだと感じました。そんな同期を見て励まされたし、私も頑張ろうと思えました。

大学院に通いながら新社会人として仕事を始めて、３ヶ月が経ちましたが、ようやく新しい生活にも慣れてきました。２年後、またその先もこの道を選んでよかったと思えるように、息抜きもしながら仕事も研究も有意義なものにしていきたいと思います。